

## 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

### 1. 学校概要

学校名 岐阜聖徳学園高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>

☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☒ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 500 - 8288 岐阜市中鵜 1 - 5 0

E-mail gsh@shotoku.ac.jp

Website http://www.shotoku.jp/gsh/

幼児児童生徒数 男子 487 名 女子 535 名 合計 1022 名

幼児・児童・生徒の年齢 15 歳 ~ 18 歳

### 2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

### 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

① 1 年生：環境に関わる学習

各ホームルームクラスで中学校での学びを振り返りつつ、各クラス・グループでのテーマを設定し、探究的な学習をおこなった。学年末には学習のまとめとして学年全体での発表会をおこない、1 年間の学習活動を共有した。

② 2 年生：自然・文化・交流（沖縄、ベトナム・カンボジア）に関わる学習

全生徒は1 年次に「沖縄」または「ベトナム・カンボジア」のいずれかを2 年次での探究素材として選択している。自分が選んだ探究活動の素材を用いて各クラス・グループでのテーマを設定し、探究的な学習をおこなった。9 月には中間発表会を、11 月には沖縄あるいはベトナム・カンボジアへ実際に赴く研修旅行をおこなった。学年末には学習のまとめとして学年全体での発表会をおこない、1 年間の学習活動を共有した。

③ 3 年生：人権に関わる学習

高校1，2 年での学習を踏まえたうえで、ESD に関わる学習の総まとめとして、各ホームルームクラスで生徒が自ら課題を設定して、探究する学習をおこなった。9 月には模擬選挙をおこなった。

④ ぎふグローバル人材育成推進事業

地域防災をベースに、フィリピンのレイテ高校や本校周辺の住民の方と交流をおこなった。

① の写真（学年末発表会）



② の写真（研修旅行）



③ の写真（模擬選挙）



④ の写真（防災についてのレイテ高校との交流学习）



※チェック事項 1-1、2-1 に対応

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

ユネスコスクール公式ウェブサイト, 清流の国ぎふ防災・減災センター, 沖縄コンベンションビューロー, その他, 環境, ベトナム・カンボジア, 人権に関わるウェブサイト

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校は、2001 年度より、1 年生から 3 年生までの各学年において、年間を通じて、週 1 時間、「総合的な学習の時間」を設けている。特に、2002 年度から 10 年間、実施された 2 年生の中国を題材とする総合学習での植林活動が、2006 年に、岐阜県ユネスコ協会から「青少年グランプリ国際賞」を受賞されたことがきっかけとなって、2012 年に、ユネスコスクールに認定されている。

「総合」の学習活動は、「課題を見つけて、活動して、発表すること」である。1 年生のテーマは、「環境」、2 年生のテーマは、沖縄またはベトナム・カンボジアを題材とする「自然・文化・交流」、3 年生のテーマは、「人権」です。これらの各学年のテーマに基づいて、各クラスやグループで、課題を見つけて、活動して、発表することを通して、本校の学校目標である「よき市民として卒業する」ことがねらいである。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

上記の学習活動を通じて、学校全体で、4 つの具体的な「育てようとする資質や能力及び態度」を身につけることを目指すことを共有している。1 つ目が、自ら学ぼうとする力、自分を評価する力、2 つ目が、自ら問題を見つけ、解決する力、3 つ目が、すばらしい自分に気づき、自分を認める気持ちをもつこと、4 つ目が、自分を表現する力をつけ、他者と共感し、協力することである。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

1 年生、2 年生において、学年末発表会を実施して、各クラス・グループの活動を共有して、相互評価をしている。さらに、本校は、「ぎふグローバル人材育成事業」に採択されており、総合的な学習の時間に関して、ぎふグローバル人材育成事業の運営委員会より、評価を受けることができた。今後、そのような機会を増やしていくことが重要である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

「ぎふグローバル人材育成事業」に採択されて、その中間報告会や最終報告会において、総合的な学習の時間における活動を報告することができて、そのことを通して、報告会に出席された地域の方々に発信することができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

ユネスコスクール支援大学の岐阜大学、特に、岐阜大学清流の国ぎふ防災・減災センターを連携、協働しながら、環境、特に、防災環境を題材とする学習を展開することができている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

特にユネスコスクール支援大学の岐阜大学とは、連携、協働しながら、学習を展開することができている。今後、さらに、地域や海外のユネスコスクールとの連携、協働しながらの学習を計画している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)

※チェック事項 2-5 に対応

本校の特筆するところは、1年生から3年生までの各学年において、年間を通じて、週1時間、「総合的な学習の時間」を設けていて、この学習を通じて、全生徒において、ESDを実践しているところである。さらに、その学習活動において、実際に調査をしたり、フィールドワークをしたり、活動を通じた探究を行なっているところである。

(3) 平成30年度の活動計画(200～400字程度)

2001年度より本校が、伝統的に実践している総合的な学習の時間を、さらに充実させていくことを予定している。来年度の「総合」の学習活動は、「課題を見つけて、活動して、発表すること」である。1年生のテーマは、「環境」、2年生のテーマは、沖縄またはベトナム・カンボジアを題材とする「自然・文化・交流」、3年生のテーマは、「人権」です。これらの各学年のテーマに基づいて、各クラスやグループで、課題を見つけて、活動して、発表することを通して、本校の学校目標である「よき市民として卒業する」ことがねらいである。さらに、連携、協働をグローバルにローカルに充実させていくことを予定している。